



ITを活用したグリーン調達の支援

グリーン調達支援ソリューション「グリーン調達マイスター™」の提供を通じて、サプライチェーン企業における環境推進活動に貢献しています。

開発の背景

2006年7月のEU（欧州連合）による「RoHS指令」や、2007年3月の「中国版RoHS指令」などによって、電気・電子製品に含まれる特定有害化学物質の使用規制が世界規模で強化されています。こうしたなか、サプライチェーンに関わるすべての企業において、製品に含まれる特定有害化学物質の情報を、責任を持って正確に管理・伝達することが、求められています。

現在、部品製造業を含む多くのメーカー企業では、化学物質情報についての調査・回答作業を担当者が手作業で実施していますが、そうして収集された情報は書面や表計算ソフトなどで管理されているため、調査・回答作業や情報の管理・活用に多大な負担を強いられています。

こうした状況のもと各企業においては、調査・回答作業の負荷を軽減し、物質情報の維持・管理を効率的かつ確実に実行するための仕組みが求められています。

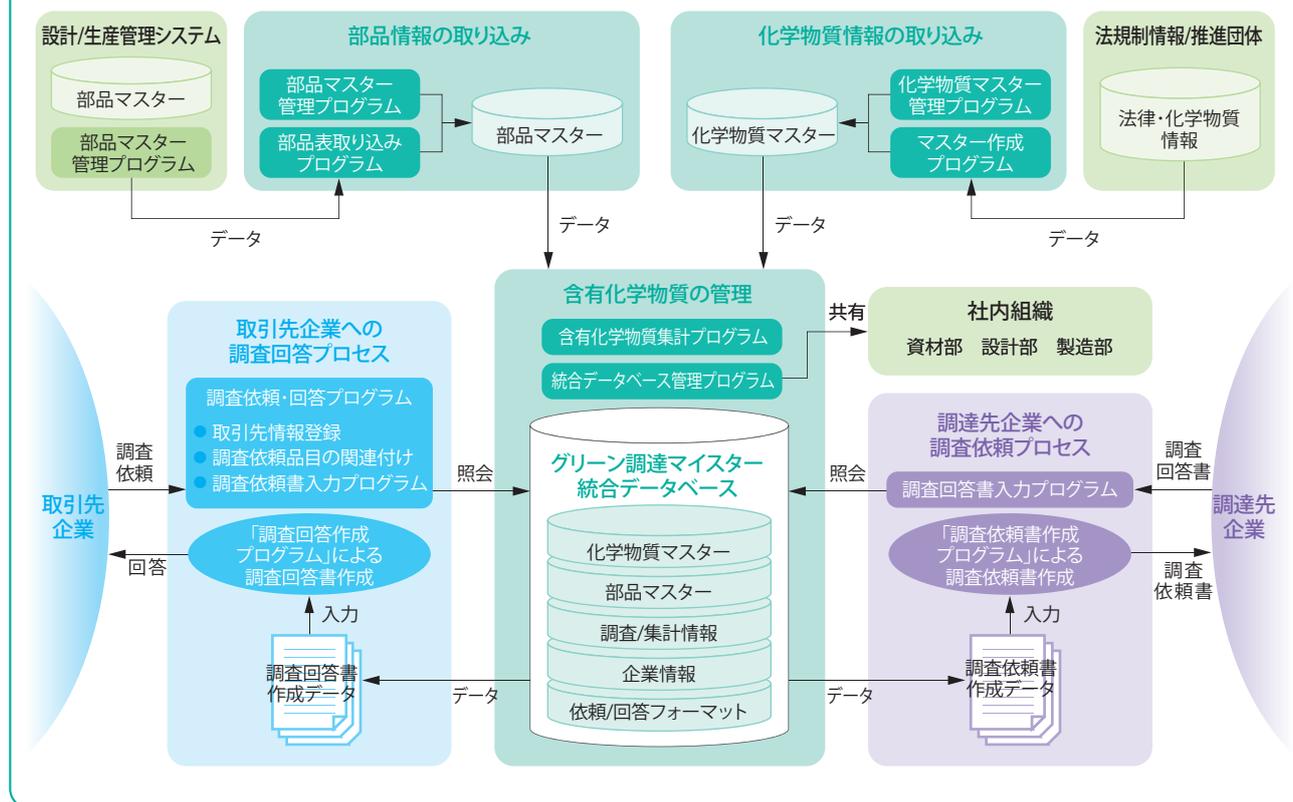
ソリューションの概要

日本ユニシス・エクセリーションズが開発した「グリーン調達マイスター」は、グリーン調達調査共通化協議会によって標準化が推進されている電気・電子機器製造業を対象業種とし、含有化学物質の調査依頼や調査回答業務を、簡単な操作で支援するソリューションです。統合データベースに部品情報や化学物質情報を登録し、蓄積していくことで、含有物質情報についての問い合わせを受けた場合に、迅速に回答書を作成することが可能となります。また逆に部品メーカーに対して調査を依頼するケースにおいても、蓄積されたデータベースをもとに効率的に問い合わせを行うことができます。

なお、本ソリューションにおいてはJIG（ジョイント・インダストリー・ガイドライン）に準拠した含有化学物質の調査依頼や、調査回答に必要な情報管理が行えます。また、JIG対応のフォーマットファイルによるインターフェースをサポートしています。

 **グリーン調達マイスター**
<http://www.excel.co.jp/green/>

「グリーン調達マイスター™」システム概要



導入事例 ローヤル電機株式会社様

ローヤル電機様は送風機や照明機器などのメーカーとして、家庭や店舗・事業所・工場などを対象に多くの製品を提供されています。また、製品分野が多岐にわたることから、部品調達や製造の段階で、非常に数多くの部品について含有物質の情報管理を実施されています。

同社では早くからグリーン調達の取り組みに着手されていましたが、約百数十にも上る取引先について、それぞれ個別のフォーマットで調査依頼への回答や提出された情報を管理することに非常に多くの労力を要していました。また、RoHS指令の施行やJIG対応フォーマットの改訂を受け、調査事項が大幅に増えるとともに、より厳密な調査が求められるようになるな

か、それまでの表計算ソフトや書面による管理方法に限界を感じていました。

こうした課題を解決すべく、同社では2007年より「グリーン調達マイスター」を導入し有害化学物質情報の管理をデータベース化することで、作業負荷の大幅な軽減を実現されました。またシステムの構築により管理の仕組み・フローが体系化されたことで、新しい要員でも比較的容易に業務を担当することが可能となっています。

現在はJIG対応フォーマットにおける新たなバージョンへの過渡期ということもあり、含有化学物質のデータ整備を中心に作業を実施されています。

ローヤル電機様 会社概要

設立:1955年5月24日

資本金:1,538,448,462円

従業員数:130名



ローヤル電機

<http://www.royal-elec.co.jp/>



COMMENT 開発担当者から

お客さまの声を取り入れ、ソリューションを開発

欧州を中心に有害物質の使用規制が強化され、国内製造業でも一層の対応を求められているなか、日本ユニシス・エクセリションズでは、ITを通じてそうした企業の取り組みを支援していくために、2005年よりソリューションの企画・検討に着手しました。具体的には、約150社の企業を対象にヒアリング調査をしたところ、各企業とも、化学物質情報管理にともなう煩雑な作業に共通の課題を抱えていることが分かりました。そこで、2006年から本格的な開発プロジェクトを立ち上げ、同年末には「グリーン調達マイスター」として商品化を実現。初めての分野でいろいろと試行錯誤もありましたが、地球環境問題への取り組みに間接的であれ貢献できるというやりがいのもと、チーム一丸となってさまざまな課題をクリアしてきました。

本製品は、いい意味で“小回りの効く”設計となっており、新

たにこの分野をシステム化する企業を含め、さまざまな企業で比較的スムーズに導入いただけるのが特徴です。また今後は、自動車業界や大手セットメーカーのシステムとのより高い親和性をめざし、さらに汎用性のある化学物質管理ソリューションとしての展開を考えています。

これからも環境分野の動向を見据えながら、お客さまからのニーズやご意見を積極的に取り入れ、より良いものを提供していきたいと思えます。



日本ユニシス・エクセリションズ
インダストリーシステム部
大西 智弘